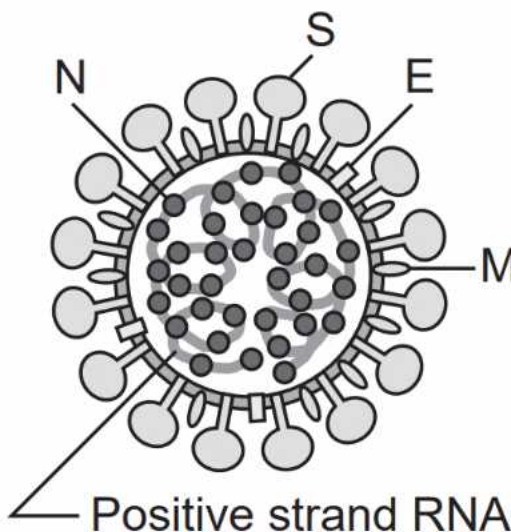
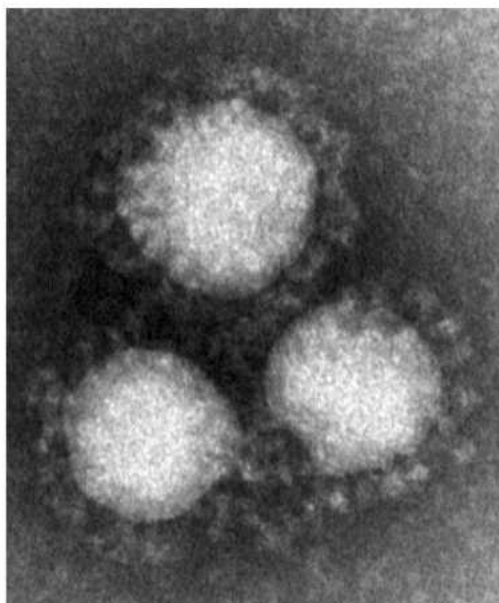


県内の新型コロナウイルス感染症の動向



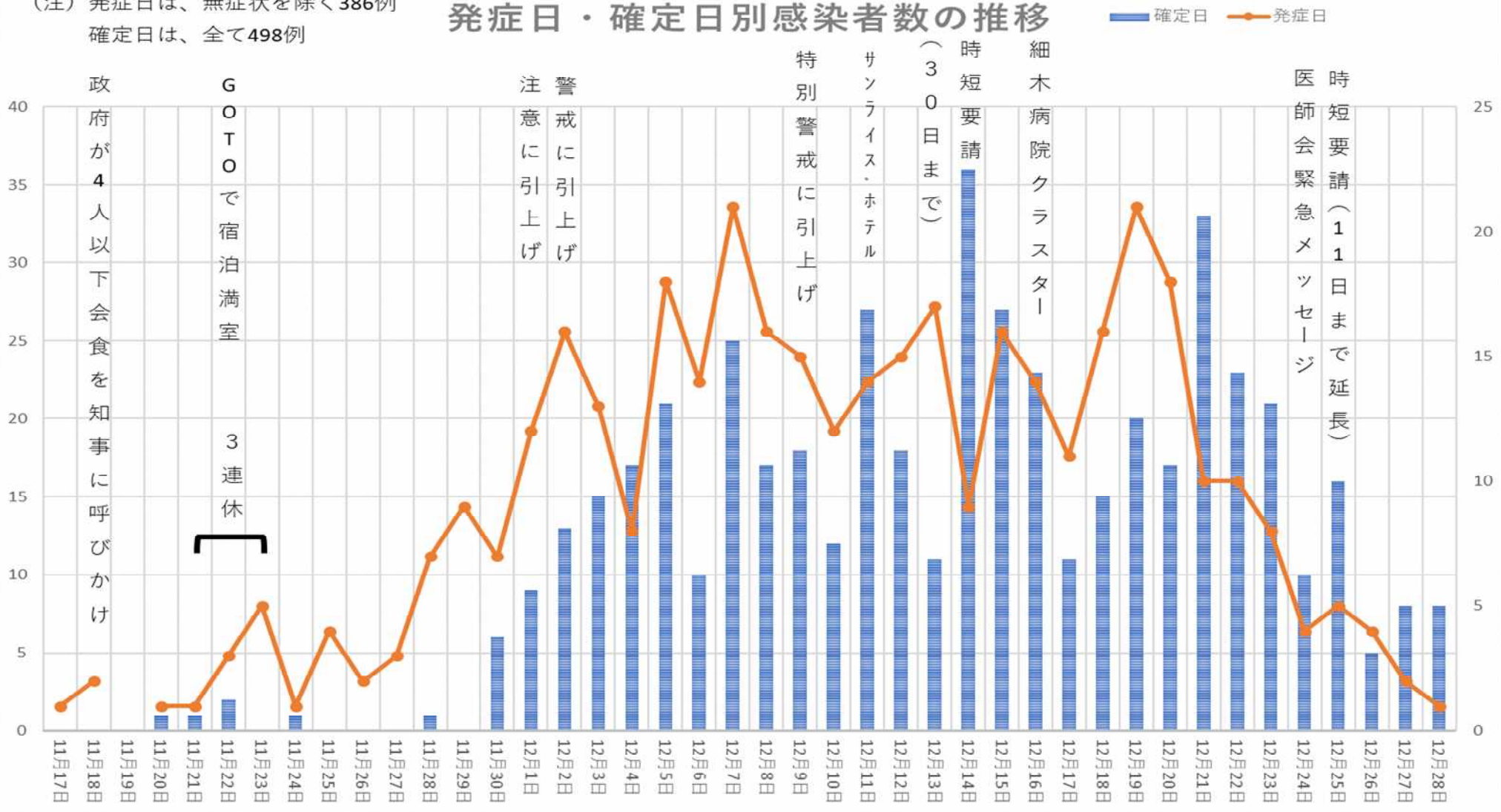
国立感染症研究所HPより

中央東福祉保健所

R3. 1. 29 日本一の健康長寿県構想南国・香南・香美地域推進協議会

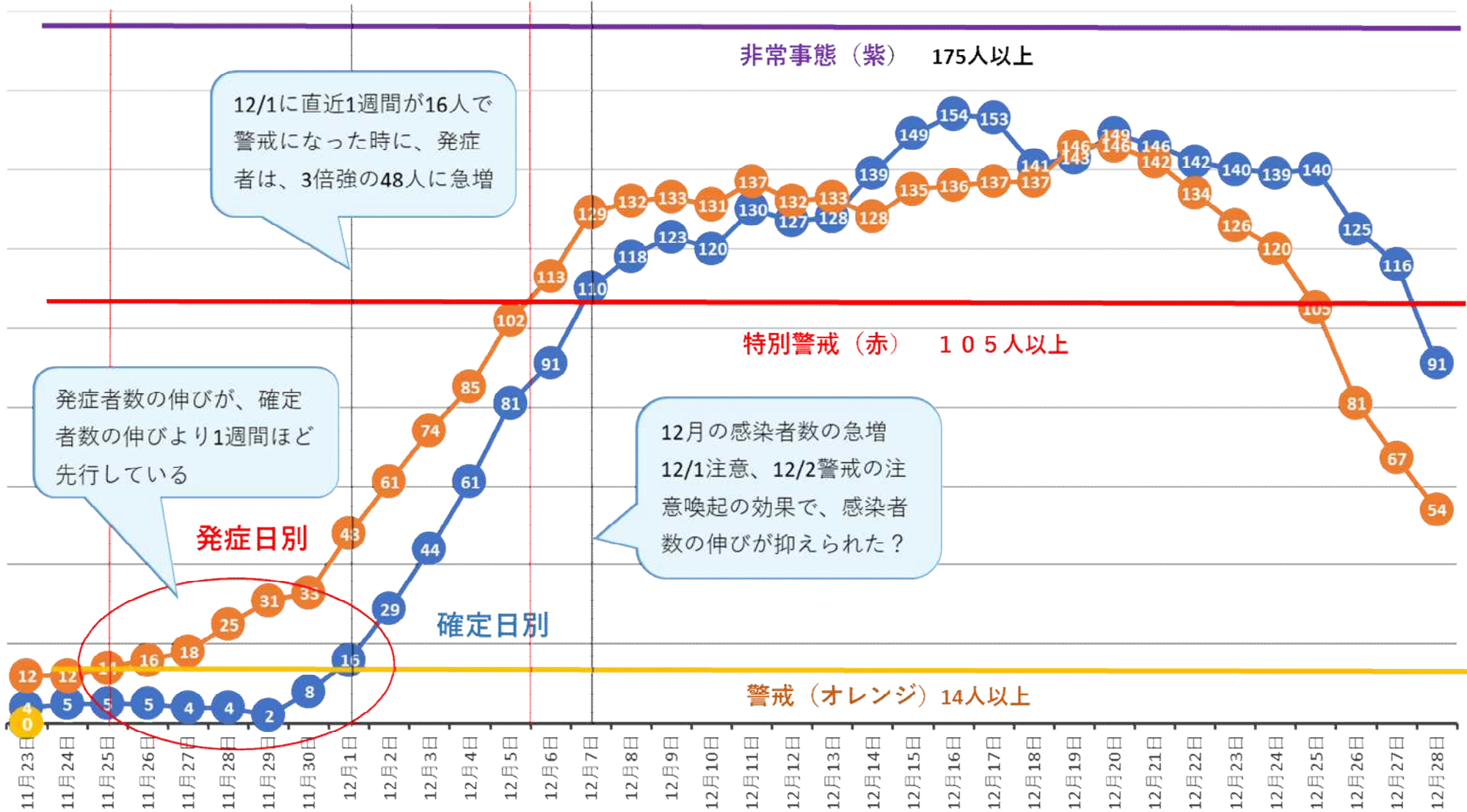
(注) 発症日は、無症状を除く386例
 確定日は、全て498例

発症日・確定日別感染者数の推移



- ・政府が4人以下会食を呼びかけた時には3名が発症しており。3連休にGOTOで宿泊が満室になっていた時から発症が増え、12月1日、2日に警戒レベルを引き上げるまでの間に、計22名が発症
- ・3連休前から始まっていた感染が、3連休から11月末までに広がり、12月初旬の感染者急増につながったものと考えられる

直近1週間の感染者数の推移 (確定日別と発症日別感染者数)



症状 ▾

平均 / (a)-(b)

接触歴不明感染者の発症から確定までの日数

接触歴 ▾

不明

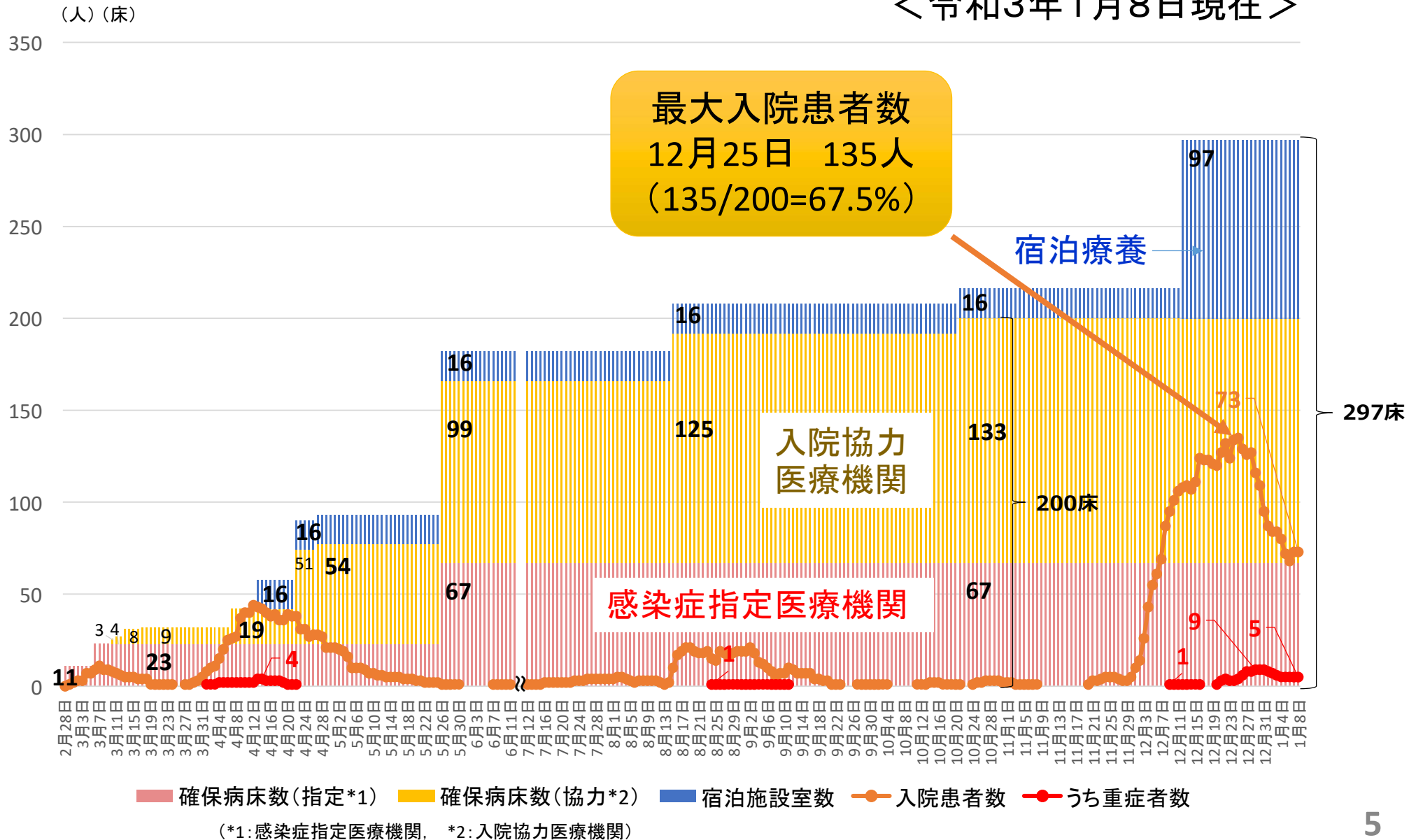


11月末まで発症から確定までの日数が長かったことが感染拡大につながり確定例の確認が遅れたことが、県民への注意喚起が遅れた原因と考えられる

発症日(a) ▾

入院患者数と確保病床数の推移(宿泊療養含む)

＜令和3年1月8日現在＞



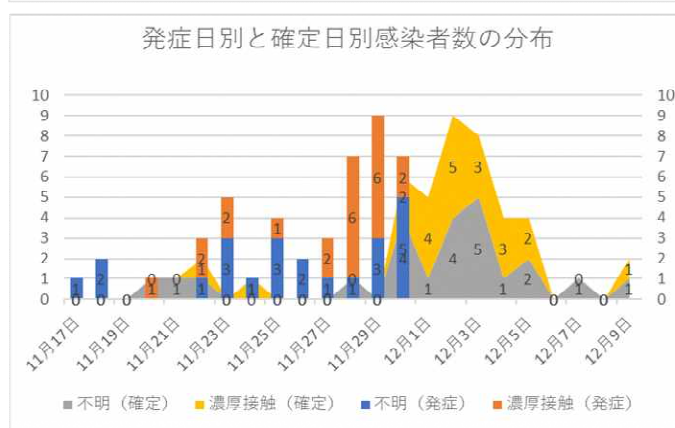
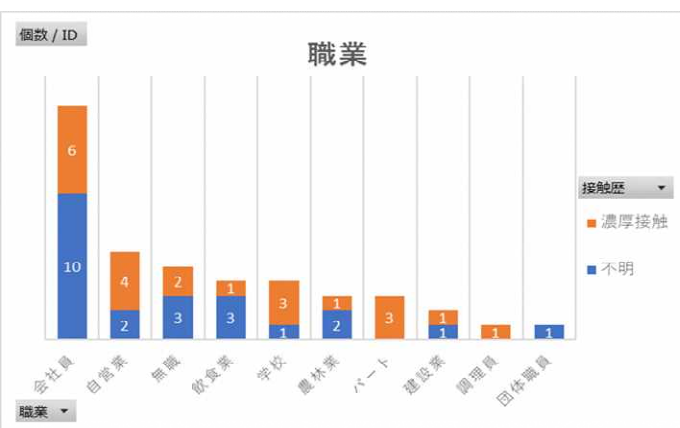
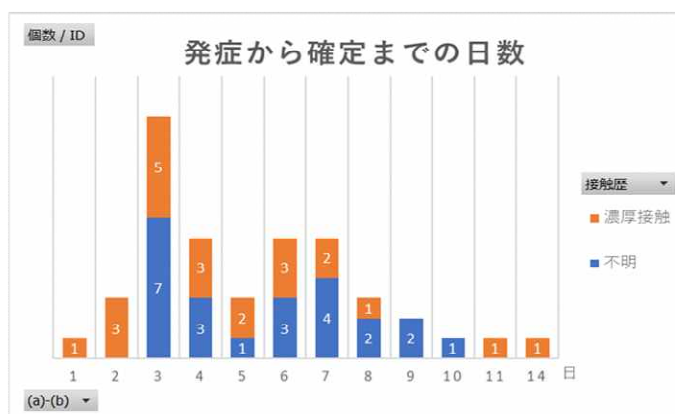
県内発生事例(145例目～712例目)の大まかな傾向と必要な対策

- ◆ 11月21日から1月7日までに高知県内で判明した新型コロナウイルス感染症の患者(568名)について大まかな傾向を分析
- ◆ 各事例のキーワードから大まかな傾向を把握し、各々に対する対策を検証

大まかな傾向(キーワード)		必要対策
職場	50件程度	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い・咳エチケットの徹底 3密(密閉・密集・密接)の回避
家庭	135件程度	
他県との往来	5件程度	
感染経路不明	195件程度	
飲食・長時間の会話	110件程度	<ul style="list-style-type: none"> 会食は小規模グループかつ短時間で
うち、クラスター(会食)	10件程度	
カラオケ・バー等	20件程度	
クラスター(医療機関、施設)	70件程度	

(注) 大まかな傾向(キーワード)については、必ずしもその場において感染が成立したことを確定するものではない。重複計上のため、合計は患者数と合致しない。

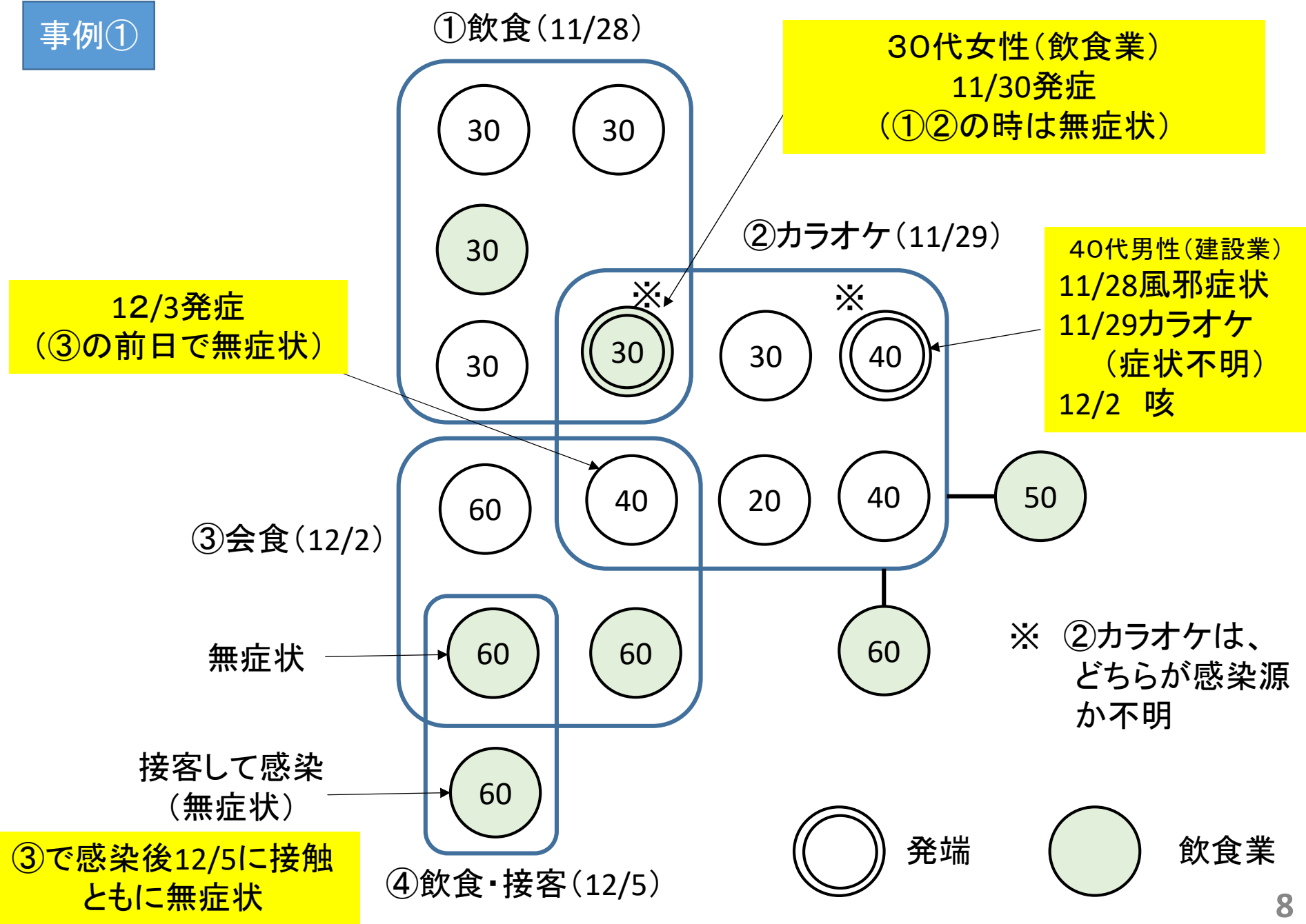
12月第1週の急増の要因と考えられる11月中発症45例の分析



- ・40～60歳代までの男性が多く、会社員が多い
- ・飲食業の4名中3名は、30歳代。4名とも2次感染(9名、2名、1名、1名)が確認されている
- ・45名中11月中の確定例は、29日まで6名、30日の6名(計12名)のみ。
- ・発症後3日以内の確定は16名。確定まで1週間以上かかった者が14名と診断が遅れている
- ・二次感染は、飲食・会食を伴うものが多く、45名中29名(64%)から49名に二次感染を確認
- ・9名、6名、5名、4名、3名に感染が各1例。2名に感染が5例。1名に感染が12例。

中年男性の会社員が、会食・飲食・カラオケ時に感染。診断に時間を要しているうちに感染拡大？ 7

事例①

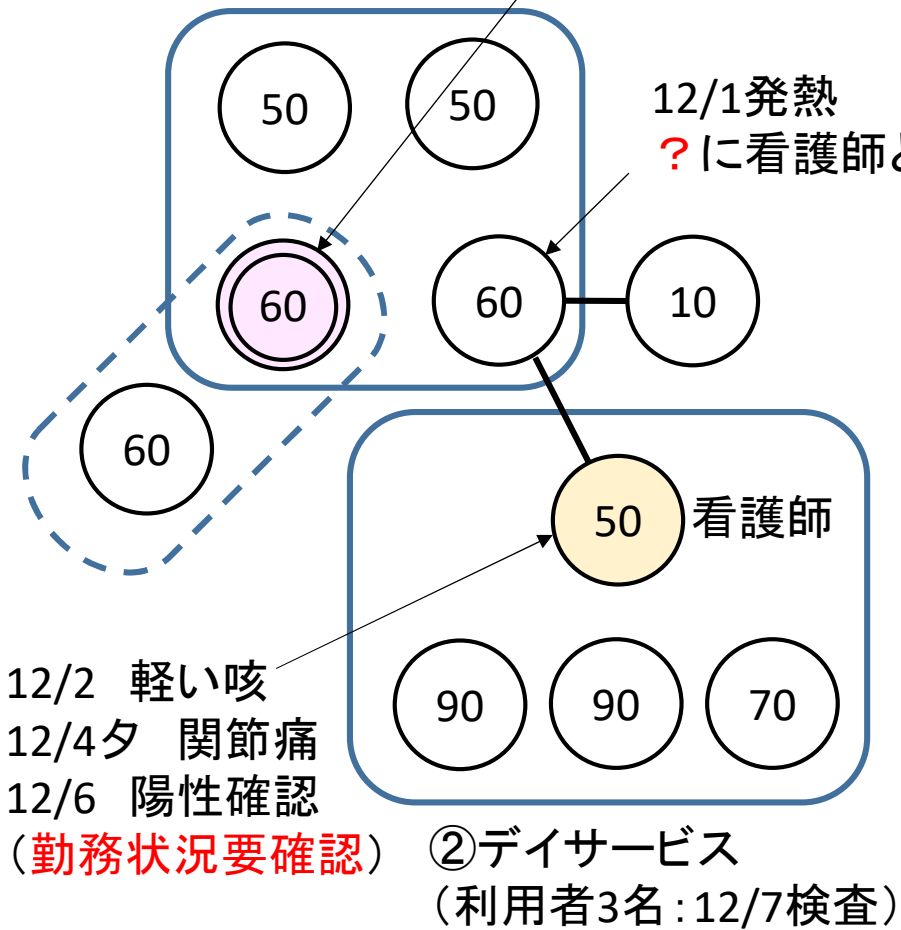


事例②

60歳代男性(会社員)
11/25発症(①の前日で無症状)

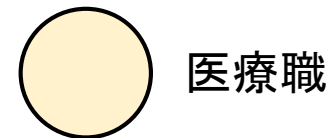
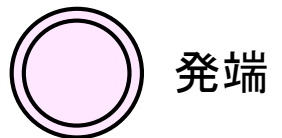
①会食(11/24)

12/1発熱
?に看護師と接触



12/2 軽い咳
12/4夕 関節痛
12/6 陽性確認
(勤務状況要確認)

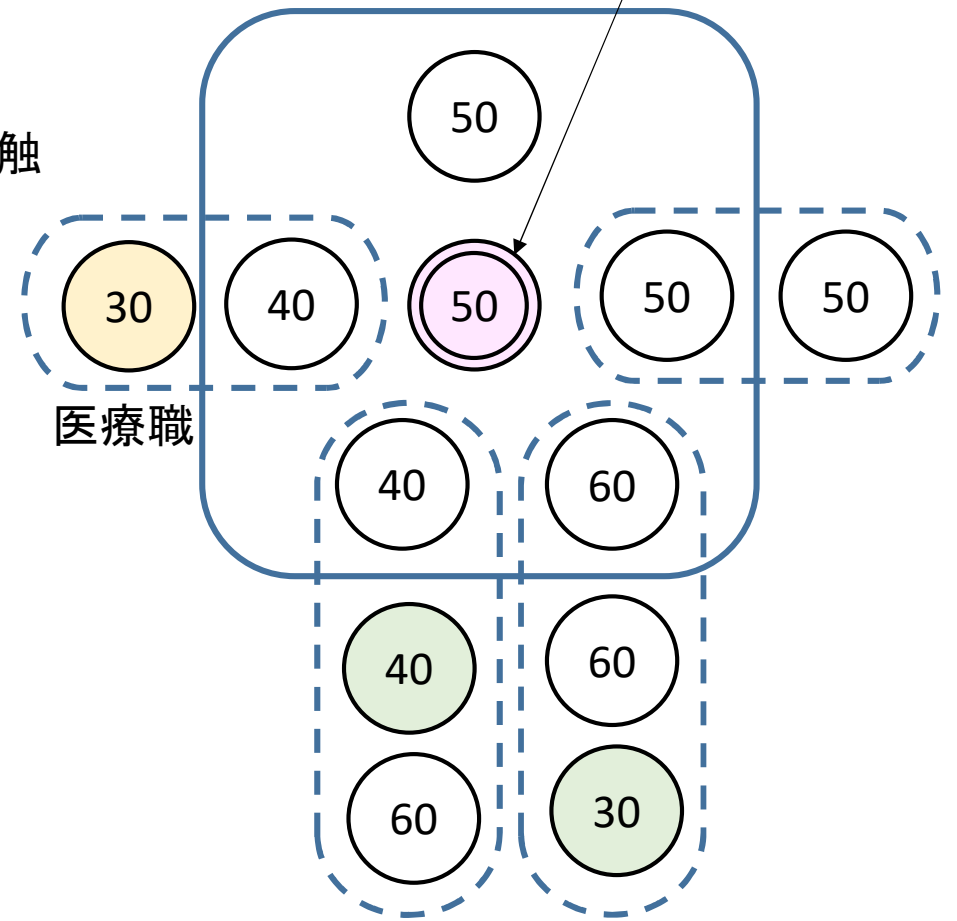
②デイサービス
(利用者3名:12/7検査)



事例③

50歳代男性(会社員)
11/25発症(①の前日で無症状)

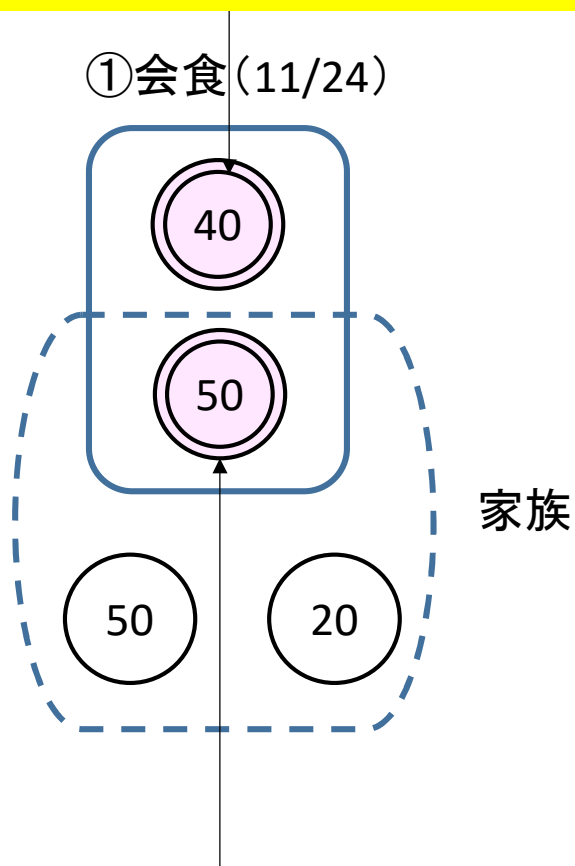
①会食(11/24)



医療職

事例④

40歳代男性(学校職員)
11/28 発症(①の4日後)



50歳代男性(学校職員)
11/29 発症(①の5日後)

どちらが発端者かは不明

4事例のまとめ

事例①～④は、発症前の無症状時に
会食、飲食、カラオケで感染している

事例①

飲食→カラオケ→会食とつながり計
16名が感染(うち、7名が飲食業)

事例②

会食から始まり、家族内感染、看護
師に感染してデイサービスで感染。計
10名が感染

事例③

会食で5名に感染。うち3名が家族内
感染して計12名が感染

事例④

会食から家族内感染で計4名が感染

11月下旬から12月末までの感染動向のまとめ

• 結果

- 11月18日に政府が4人以下の会食を知事に呼びかけた時には、既に3名が発症していた
- 3連休にGOTOで宿泊が満室になった時、4名の確定例がでていますが、発症者は既に12名となっていた
- 12月1日に注意、2日に警戒に引き上げたが、11月30日に6名が確定する前日の11月29日には、発症者が伸び39名となっていた(12月1日:48名)
- 直近1週間の感染者数の動向では、発症者の伸びが確定者の伸びより約1週間ほど先行していた
- 12月1日と2日に引き上げた後、約1週間後の12月7日から発症者数の伸びが抑えられている
- 接触歴不明の感染者の発症から確定までの平均日数は、次第に短縮しているが、11月末までは長かった。その多くが、受診の遅れによるもので医療機関による診断が遅れた事例は少なかった。
- 11月発症45例を分析すると、40歳代から60歳代までの男性が多く、会社員が多い。発症後3日以内の確定は16名(36%)。1週間以上が14名(31%)と診断確定が遅れている。
- 感染のつながりを把握分析した4事例では、いずれも発症前の無症状時に会食、飲食、カラオケで感染。その後、家族内感染やデイサービスでの感染につながっていた。

• 考察

- 11月30日から確定例が急増するまでの間は、県民の気の緩みもあり、受診が遅れ、会食、飲食、カラオケなどを介して感染拡大していたが、12月から感染者数が急増してからは、県民への注意喚起も相まって県民が行動変容し、早期に受診して検査を受けることにより感染拡大を抑制できたのではないかと考えられる
- 発症例と確定例の動向に約1週間のタイムラグがあることから、県民への注意喚起は早めにする必要があると考えられる
- 発症後ではなく、発症前の無症状時に会食、飲食、カラオケを介して感染拡大していることと、会食、飲食、カラオケ時のマスク着用の必要性について、県民に周知する必要がある

新型コロナワクチンの接種体制の構築（スケジュールのイメージ）

- ワクチンが承認された場合に速やかに接種が可能となるよう、ワクチン接種の優先順位を踏まえ、都道府県・市町村と連携して、接種体制を整える。

